



ごあいさつ

理事長 鈴木重壹

緑と防災、防犯

長岡造形大學教授

平井邦彦



昨年末から今春にかけ気になる話の中で、とりわけ注目すべき問題として、地球規模での環境破壊が急激に進んでいることが、もはや一部の力によって隠しきれる範囲を大きく超えたという報道の事実がある。なかでもアメリカ国防総省（ペンタゴン）の発表は世界を震撼させるに余りある情報として世界を駆け巡った。

オゾン層の破壊、二酸化炭素の増加による温暖化、熱帯雨林の伐採や焼き畑農業そして化学肥料の多用・農薬物等障害による砂漠化

大気・海洋の汚染、人口増加による世界的食糧危機の可能性、正体不明の病原菌の発生等々由々しき状態に立ち入つたのである。われわれの周辺においても、年々各地で発生する異常気象や環境異変の現象が如実にそれを表している。

そんな中で百年先を見据え、ふる里環境創造ビジョンとして立ち上がった「新潟緑の百年運動……県民木を植える運動」はまさしく時を得た呼びかけであつた。

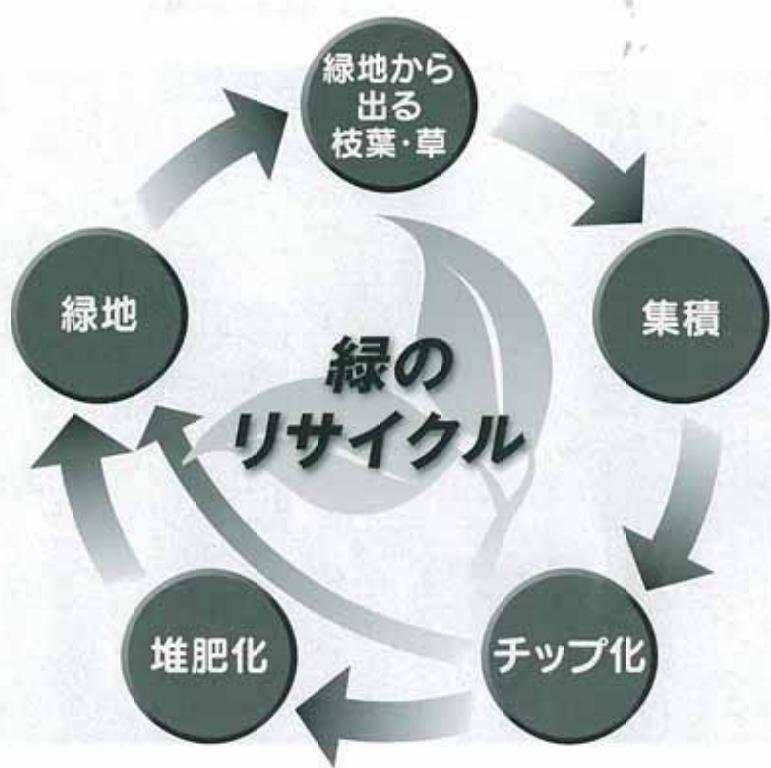
里山に限らず街の中でも田園地帯でも事の重大さを理解するなら

いう防犯面の重大な問題にも留意が必要である。全国を震撼させた一九九七年の神戸の児童殺傷事件では、放置され人々の足が遠のいた山やよかれと信じて疑わなかつた町の低木植栽が、青少年たちの密会の場や暴行の場となり、我が国でもようやく緑と犯罪の関係が注目されるようになつた。

緑は難しい、特に雪の多い長岡にいるところのことを実感せずにはいられない。



長岡市金屋の街路樹



【環境に関する用語集】

*ゼロエミッショ

ゼロ（無し）エミッション（ごみ、廃棄物）。1994年に国連大学により提唱された構想。ゼロエミッションは、排出される廃棄物をリサイクルし、社会全体で廃棄物をゼロにしようという考え方。

私たちの「緑のゼロエミッション」は日頃の管理作業で発生する瓦礫などの廃棄物をリサイクルし、資源循環型社会の形成を目指す取り組みです。

バイオマス

バイオ（生物、生物資源）マス（量）からなる言葉。生物由來の資源のことと、食品廃棄物（生ごみ、おからなど）、木材、下水汚泥、稻わら、枯葉、牛糞、もみがらなど、多岐にわたる。

· 资源循环型社会

環境に優しい社会を目指して、資源をできるだけ消費しない、不要物を出さない、処理処分しなくてはならない廃棄物は再利用する社会のこと。また、再生された物品やエネルギーを積極的に導入することで、資源「循環型」社会が形成されます。

